



1 回戦第 4 試合の LIEBE 栃木 vs 朝日大学の試合は LIEBE 栃木のセンターパスにより開始された。5 分、朝日大学が左サイドをドリブルで駆け上がり、パスを繋いでチャンスを作るが#20 岩館のリバースヒットは枠を捉えられない。10 分、相手陣地でボール奪取した L 栃木#7 加藤がドリブルからそのままヒットシュートを放つが、これもゴール左に外れる。12 分、再び L 栃木が相手陣地でボールを奪い、細かいパス交換から#24 村上がリバースヒットを放つが、これは朝日大 GK#1 船本がきっちりセーブする。そのまま両チーム無得点のまま第 1Q を終える。

第 2Q に入り、序盤から L 栃木がボールを持つ時間が長くなるが、朝日大が高い集中力で守り、得点はおろかサークル侵入すら許さない。その後も L 栃木の攻撃を朝日大が凌ぎ切り、0-0 で前半を終える。

第 3Q に入り、開始早々、右サイドを攻め込んだ L 栃木がリバースヒットでサークル内に打ち込むが、これは繋がらない。34 分、朝日大が左サイドをドリブルで持ち上がりカウンター攻撃を仕掛けるものの、L 栃木 DF が落ち着いて対応する。43 分、L 栃木が右サイドからサークル侵入し、ゴール前でフリーの味方にボールが渡る。しかし振り向きざまに放った#21 千葉のシュートは枠を捉えられず、そのまま 0-0 で第 3Q を終える。

第 4Q に入り、攻める L 栃木に対し、朝日大は守備を固めてカウンターを狙う構え。46 分、47 分と立て続けに L 栃木が PC を獲得し、#15 永吉が強烈なフリックシュートを放つが、朝日大の 1 番騎が 2 本とも体を張ってブロックする。50 分、L 栃木が PC を獲得し、#15 永吉が三度フリックシュートを放つが、これはゴール左に外れてしまう。53 分、サークル内右サイドでボールを受けた#7 加藤が絶妙なボールコントロールからシュートに持ち込み、これを相手が妨害したとして L 栃木が PS を獲得する。しかし、ゴール左側に放たれたシュートを朝日大 GK 船本がスーパーセーブ。この試合最大の危機を脱する。直後の 55 分にも L 栃木が PC を獲得するがこれも 1 番騎がブロック。56 分にも PC を獲得するが、放たれた強烈なスweep はまたも GK 船本が好セーブ。59 分、サークルトップでボールを受けた L 栃木#7 加藤がゴール前の味方に繋ぐが、タッチシュートはまたも GK 船本が防ぎ切る。試合終了 7 秒前、L 栃木が PC を獲得し、#4 霧下が強烈なフリックシュートを放つが、GK 船本がスーパーセーブで守り、そのまま 0-0 で試合終了。勝負は SO 戦に持ち込まれる。SO 戦は L 栃木 GK#27 森田が 3 本止め、SO スコア 3-1 で L 栃木が勝利した。終始攻め立てる LIEBE 栃木に対し、高い集中力で素晴らしい守りを見せた朝日大学だったが、最後の最後で 1 歩及ばずという結果となった。それでも、前回王者に対して素晴らしい試合を見せた朝日大学、王者としての貫禄を見せつけた LIEBE 栃木の両者を称える拍手がスタンドから鳴り響いた。